

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案特別委員會議事速記第一號

委員氏名

委員長 澤柳政太郎君
副委員長 子爵野村 益三君

伯爵大河内輝耕君
子爵大河内輝耕君
男爵今園 國貞君
鎌田 榮吉君
赤池 濃君
橋本萬右衛門君
小林嘉平治君

昭和二年三月二十三日(水曜日)午後五時
六分開會

○委員長(澤柳政太郎君) ソレデハ是カラ
開會致シマス、一應當局大臣ヨリ提出ノ御
說明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(岡田良平君) 是ハ本議場ニ於
キマシテ大略申述ベシタ通り、從來義務
教育費國庫負擔額ハ七千万圓ヲ下ルコトヲ
得ズト法律ニゴザイマシタノヲ、昭和二年
カラ五百万圓ヲ増加致シマシテ、七千五百
萬圓ト致スコトニ致シマシタノデアリマ
ス、從テ此法律モ七千五百萬圓ヲ下ルコト
ヲ得ズト云フ風ニ訂正ヲ致スノデアリマ
ス、事柄ハ極メテ簡單デゴザイマス、而シテ
其増加致シマシタ金額ノ使用法、其他ニ付
キマシテハ、總テ是ハ從來ノ例ニ依リマシ
テソレ、市町村ニ交付スルコトニ致スノ
デアリマス、尙ホ御質問ガアリマスレバ御
答ヲ致シマス

シタイト思ヒマスガ如何デアリマスカ
○委員長(澤柳政太郎君) 宜シウゴザイマ
ス
○子爵大河内輝耕君 私ハ地方財政ノ整理
ノコトニ付キマシテ、内務大臣ノ御說明ヲ
煩シタイト思ヒマス、本日本議場ニ於キマ
シテ通リマシタ所ノ震災手形ノ案ハ申ス迄
モナク、是ハ財界ノ大ナル痛テゴザイマス、
之ヲ協賛致シマシタ以上ハ、我々モ大ナル責
任ヲ以テ是ガ瘡ヲ治ス爲ニ十分ノ努力ヲ致
サムケレバナラナイノデ、誠ニ其責任ノ重
大ナルコトヲ深ク感ジテ居ル者デゴザイマ
スガ、是ハ主ニ中央財政ノ問題デゴザイマ
スカラ、是ハ内務大臣ニ申上ルベキ筋合
デハゴザイマセヌ、併ナガラ地方財政ガ中
央財政ニ大ナル影響ヲ持ッテ居ルト云フコ
トハ、ハ申ス迄モナイ事實デゴザイマス、
地方財政ノコトヲ段々ニ研究致シマスルト
云フト、如何ニモ地方財政ト云フモノハ、
一般ノ狀況ガ同情ニ堪ヘナイモノデゴザイ
マシテ、税制ノ整理ハ出來マシタガ、マダ獨
立ノ財源ハ地方團體ニナイ、僅カニ附加税
位ノモノヲ以テ立ッテ居ルト云フヤウナ狀
態、ソレデ國庫カラドウスルカト云フト、僅
カナ名前バカリノ補助金ヲ出シマシテ、サ
ウシテ色々ナ仕事ヲ強フルト云フヤ何デス
ガ、ヤラシテ居ル、ソレデ地方財政ト云フモ
ノハ愈々苦シイ立場ニ立ッテ居ルト云フコト
ハ誠ニ遺憾ニ思ヒマス、斯ウ云フ今日ノヤ
ウナ案ガ出マスルト云フコトハ、此立場カ
ラシテ、ハ非常ニ結構ナコトデアリ、半額
主義トカ全額主義ト云フヤウナコトハ此際
一掃シテシマッテ、出來ルダケ此義務教育費
ノ國庫負擔ノミナラズ、其外色々ナ點ニ付キ

マシテ、十分ノ補助ヲスルト云フコトハ必
要ナコトデアラウカト感ジテ居ルノデゴザ
イマス、一體地方ニ仕事ヲサセルコトガ少
シ多過ギルヤウニ私ハ思フ、仕事ヲサセル
ノナラ宜シウゴザイマスカラ、補助金ナン
ドハモットタツブリ一ツ出シテ頂キタイ、是ハ
中央財政ノ關係上仕方ガナイト云フコトナ
ラバサセルコトヲ少シ遠慮シテ頂キタイ、
此點ニ付テ内務大臣ノ御考ヘハ如何デゴザ
イマセウカ、其點ガ第一點、ソレカラモウ
一ツハ又反對ノ方面カラ申シマス云フト、
地方財政ガ隨分贅澤ヲ致シテ居ルヤウニ感
ゼラレル節モナイデハナイノデゴザイマ
ス、是ハ詰リ人氣取りノ政略カラ原因イタ
シマスモノデ、内務大臣トシテハ、ドウモ
地方長官ノ請求ガアレバサウ無暗ニ之ヲハ
ネツケル譯ニモ行カナイ、又地方長官モ府
縣民又ハ市町村民カラ要求ガアレバドウモ
稅ヲ出シテモヤラウト云フモノヲハネツケ
ルト云フコトモ出來ナイ、積リ積リテ大キ
ナ結果ニナリ、財力不相應ナ事業ヲスル
ト云フヤウナコトニナッテ、情狀ハ十分御
察シ申シテ居リマスノデスガ、併シ今ノ
經濟界ノ狀態又財政上ノ狀態ヲ見マス
ト云フト、モウ一層此點ニ付テ、内務當局ノ
努力ガ必要デアルマイカ、若モ内務當局ダ
ケノ努力ガ足りナイト云フコトナラバ、此
度ノ震災手形ノ例ニ倣ヒマシテ、我々又其責
任ヲ分擔シテ之ニ當ルト云フコトハ少シモ
躊躇スルモノデハナイ、其具體的ノ方法ハ
色々ゴザイマセウカ、是ハ當局ノ御考ニ讓ル
コト、致シマシテ、唯今ノ事ニ付キマシテ、
大臣ノ御答辯ヲ得レバ甚ダ仕合セデアリマ
ス

○國務大臣(濱口雄幸君) 御質問ハ第一點
第二點ト項ヲ御分カチナリマシタガ、私
便宜上二ツノ問題ニ付テ併セテ御答ヲシヤ
ウト思ヒマス、地方財政ノ事ニ付テ御心配
ニナリマシタコトハ洵ニ御尤千萬デアリマ
ス、政府ニ於テモ此點ニ付テハ痛ク憂慮イ
タシ且ツ考慮シテ居ル問題デアリマス、御
承知ノ通り地方財政ノ中、其税制整理ニ關
スル部分ニ付キマシテハ、昨年ノ議會ニ於
テ國稅ノ整理案ト共ニ御協賛ヲ願ヒマシ
テ、今日實行中デアリマス、税制ノ整理ト致
シマシテハ、先ヅ大體一段落ヲ告ゲタト考
ヘテ居リマス、併ナガラ其施行ノ結果ガ果
シテ完壁ヲ得タリヤ否ヤト云フコトニ付テ
ハ、未ダ其結果ヲ斷定スルダケノ材料ハ今
日アリマセヌ、若シ實行ノ結果ト致シマシ
テ、補修ヲ要スルモノヲ發見イタシマスナ
ラバ、出來ル限り之ヲ補修シテ完壁ヲ得セ
シメタイト云フ考ヲ有ッテ居リマス、是ハ
税制ニ關スルコトデアリマス、税制以外ノ
コトニ付テ申シマス云フト、先ヅ歳出デ
アリマス、地方財政ノ歳出ハ種々原因モアリ
マスケレドモ、段々膨脹シテ居ルコト
ハ是亦事實デアリマス、而シテ其膨脹イタ
シマスル所ノ原因ガ、地方ノ事業其モノ、
必要カラ膨脹シテ來マス場合ト、中央ニ於
ケル國ノ事業ノ必要上膨脹シテ來マス場合
ト二様アルヤウニ考ヘマス、茲ニ於テ中央
ノ仕事ト地方ノ仕事トノ分界點ヲ極メルト
云フコトガ洵ニ重要ナ問題ニナル、ソコデ
是ハマダ未定稿デアリマスケレドモ私内務
大臣トシテ今日考ヘテ居リマス所ハ此議會
ガ終リマスレバ、マダ別ニ官民合同ノ調査
委員會ヲ設ケルト云フ程ニハ考ヘテ居リマ

セスケレドモ、少クトモ内務省ニ於キマシテ相當ノ機關ニ於テ地方ノ歳出ノ問題ヲ十分ニ審議討究ヲ致シテ見タイト云フ考ヲ有テ居リマス、ソレハドノ部分マデ國ノ仕事ヲ中央政府デヤツテ、サウシテ其他ヲ地方廳デヤルベキカ、此地方廳デヤル所ノ國ノ事業ニ付テハ國庫ガソレニ對シテ如何ナル程度マデ之ヲ補助イタシマスルカ、其問題、ソレカラ地方ノ事業ノ中デ或ハ之ヲ縮少ヲ致シ、或ハ廢スルモノガアルヤ否ヤト云フ問題、地方ノ財政全般ニ互リマシテ内務省ニ於テ一ツ調査機關ヲ組織イタシマスルカ、或ハ現在ノ機關ニ依リマスカ、兎ニ角十分ニ材料ヲ集メテ一應ノ研究ヲ致シテ見タイト云フ考ヲ有テ居リマス、其結果トシテ相當案ヲ得マシタナラバ、或ハ延テ官民合同ノ調査委員會ノ組織ヲ致シマシテ、ソレニ付議ヲ致シテ十分ノ結果ヲ得ルト云フコトニ御願ヒスルカモ知レマセヌ、是ハ餘程重大ナ問題デアリマスカラ、次ノ議會マデニ其成案ヲ得ルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、唯今責任ヲ持ッテ申上ダルトハ出來マセヌケレドモ、其結果ノ如何ニ依リテ、或ハ調査會ノ費用ヲ御要求イタスト云フ場合ニ到達イタスカモ知レマセヌガ、今日ハソレハ決定イタシテ居リマセヌガ、少クトモ内務省内ニ於テ地方財政ト國庫トノ關係ニ付テ十分ニ一ツ調査考究イタシタイト云フ考ヲ有テ居ルト云フコトヲ此機會ニ申上ダテ置キマス

○子爵大河内輝耕君 此問題ハ暫ク當局ノ十分ナル御研究ニ俟ツコトト致シマシテ私ノ質問ハ了リマス

○男爵今園國貞君 文部大臣ニ伺ヒマシマス、義務教育費ヲ如何ナル程度マデ……

○委員長(澤柳政太郎君) 内務大臣ニハモウ宜シウゴザイマスカ、若シアリマスナラ……ソレデハ宜シウゴザイマス

○國務大臣(岡田良平君) 國庫ニ於テ負擔シマス割合ハ、先年臨時教育會議デ決議ヲ致シマシタ、先ヅ俸給ノ半額ヲ國庫ニ於テ負擔スルガ相當トスト云フヤウナ決議デアリマシタ、當局者ニ於キマシテモ矢張此決議ヲ相當ト認メマシテ半額ト云フコトヲ標準ニシテ進ンデ參ッテ居ルノデアリマス、併シナガラ決シテ是ハ半額デナクテハナラヌト云フ理窟ハナイノデアリマス、十分ノ五ヨリモ十分ノ六ノ方ガ市町村ノ立場カラ見レバ宜イノデアリマス、更ニ十分ノ七ヲ國庫ガ負擔スレバ市町村ノ立場カラ申セバ更ニ宜イ譯ニナルノデアリマスガ、國庫ノ經濟ノ上カラモ考慮イタサナケレバナラヌノデアリマスカラ、先ヅ半額位デアラナラバ是ガ適當デアラウト云フ凡ソノ標準ニ過ギナイノデアリマス、即チ財政ノ許ス限リニ於キマシテハ必シモ此畛域ヲ墨守スルト云フノ必要ハナイノデアリマス、詰リ國庫ノ狀態ト市町村ノ狀態ト能ク考ヘ合セマシテ適當ニ支出ヲ致スト云フ考ヘデアリマス、唯今ノ所デハ先ヅ八千万圓ヲ國庫カラ支出イタシタイト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、唯昭和二年度ニ於キマシテハ財政ノ都合上希望通りニ行ハルルコトガ出來ナイノデ七千五百萬圓ヲ以テ満足スルノ已ムヲ得ザルニ至ッタノデアリマスガ、次ノ年度ニ於キマシテハ相成ベク八千万圓ノ標準ニ達シタイトス様ニ思ッテ居リマス、是非八千万圓ニ達シタイトス様ニ考ヘテ努力イタス積リデアリマス

○子爵大河内輝耕君 大概唯今ノ御説明ニ依リマシテ、少クトモ半額ハヤラウト斯ウ云フヤウナコトニ了解シテ宜シウゴザイマス

○國務大臣(岡田良平君) 先ヅ大體半額ヲ標準ニ致シテ居リマス、併シソレヨリ少シ超過シテモナラヌト云フコトモナシ、或ハ足ラナクテモナラヌト云フコトモナイ、凡ソノ標準ヲ其邊ニ置イテ今日マデ進ンデ參ッテ居リマス

○子爵大河内輝耕君 此半額ガ大體ノ標準デゴザイマスカラ、ソレガ多少過不足ガアルト云フコトハ是ハ當然免レナイコトト彼是レ申上ダル次第デハゴザイマセヌガ、此小學校ノ教員ノ俸給ト云フモノハ申ス迄モナク時勢ノ進運ニ伴ッテ非常ナ速力ヲ以テ増加イタシテ參ル、ソレハ争ヘナイ所デアラウト存ジマス、サウシテ我々將來ノ國民ヲ養成スル爲ニ十分能率ノ上ガル教員ヲ以テ之ニ充テルト云フコトハ、是ハ何人ト雖モ望マイモノハナカラウト存ズルノデアリマス、併シ又一方カラ申シマススト云フト、此條給モ凡ソノ限度ガアルモノデゴザイマシテ、色々ノ釣合ヒカラ極マツテ居ルト云フ風ニ考ヘテ居リマスガ、是ハ何ノ標準モナク平均額デスナ、詰リ小學校教員ノ俸給ノ平均額、是ガ何ノ標準モナクドソノ上ラテ來ルト云フコトデアリマシテハ、是ハ國庫ノ財政ニ大イナル影響ヲ及ボシテ來ルコトト考ヘルノデゴザイマス、時世ニ伴フ學級ノ増加、是ハ致シ方モゴザイマセヌガ、斯ウ云フ補助額ガ出ル、是ガ又政治上ノ關係デ半額ニナルト云フコトハ……頓著ナク唯法律ヲ出シテ殖ヤシサヘスレバ宜イト云フヤウナ論者サヘ出テ居ル今ノ有様デ、是ガ偶然ニ國庫ノ補助ガアルガ爲ニ何處何處マデモ之ガ無限ニ増加スルト云フコトデアレバ、余リ面白イコトデモナイヤウニ思ヒマス、ソレハ多々益辨ズデ多イノハ結構

○國務大臣(岡田良平君) 小學校教員ノ俸給ニ付キマシテハ俸給令ノ定メガ勿論アルノデゴザイマスガ、併シ官吏ノ如クニ一學校ノ俸給平均額何程ト云フヤウニ規定スルコトハ、是ハ甚ダ困難デアルト申シマスルノハ小サナ學校ハ教員一人ノ學校モアリマス、或ハ二三人ノ學校モ隨分アルノデアリマシテ、是ガ若シ普通官吏ノ如ク何十人ト一ツノ官衙ニ集マツテ居リマスル場合ニハ、平均額幾ラト致シテ、ソレデ其範圍内デ支給ヲ致シテ行クト云フコトガ都合ヨク行ハレルノデアリマスガ、小學校ニ於キマシテハ唯今申上ゲマスヤウナ場合ニ、小サナ所ニナリマススト云フト一人シカ教員ガ居ラヌト云フヤウナ所ガアリマス、或ハ二三人ト云フヤウナ所モアリマスルノデ、ドウモ此平均額ヲ定メテ之ニ依ッテ押ヘテ行クト云フコトハ、是ハ甚ダ困難デアリマス、ソレデ先ヅ俸給令ト云フモノヲ定メマシテ、其俸給……進給ト云フモノニ凡ソノ標準ヲ

定メマシテ、ソレニ依ッテ適當ニ制シテ行ク
ヨリ外ハ致シ方ガナイ、現在ハサウ云フヤ
ウニ致シテ居ルノデアリマスガ、此方法ハ
實際上已ムヲ得ヌデアラウカト考ヘテ居ル
ヤウナ次第デアリマス

○子爵大河内輝耕君 是ハ議論ニモナリマ
スシ、甚ダ立テ入ッタコトヲ申上ゲルヤウデ
ゴザイマスルガ、成ル程個々別々ニ小學校
ヲ見マシタナラバ、サウ云フ學校モゴザイ
マセウガ、縣毎ニ付テ凡ソ平均額ヲ極メル、
府縣全體ニ付テ平均額ヲ極メルト云フコ
トハ、ソレハ此縣ノ經濟狀態其他カラ見マ
シテ出來ナイコトデハナカラウカト思ヒマ
ス、既ニ地方廳……澤山ノ地方ノ役所ヲ持
テ居ル中央國家ノ役所ニ於キマシテハ、皆
サウ云フ風ニシマシテ、府縣ニ依リマシテ
平均額ヲ定メテ、豫算ノ配付ヲ致シテ居ル
ヤウニ存ジテ居リマス、何カサウ云フヤウ
ナ方法デモ御採ニナルヤウナ御考ハナイデ
セウカ

○國務大臣(岡田良平君) 或ハ此俸給ヲ縣
デ支出スルヤウニシタラドウカナント云フ
説ヲ爲ス人モアルノデアリマス、是ハ大イ
ニ考慮イタスベキ問題トハ考ヘテ居リマス
ケレドモ、若シ之ヲ縣デ俸給ヲ支給スルヤ
ウナコトニデモ致セバ、縣々ニ依ッテ平均額
ヲ定メテ參ルト云フコトモ出來ルノデアリ
マスガ、今日ノ如クニ市町村デ俸給ヲ支出
スルト云フコトニナッテ居ル以上ハ、縣ノ平
均ヲ定メテ置クト云フコトハ頗ル困難デア
ラウカト考ヘルノデアリマス、併シ縣デ支
給スルト云フコトハ是ハ確カニ考慮スベキ
問題デアルト思フノデアリマス、將來一ツ篤
ト研究ヲ致シマシテ、若シサウ云フコトニ
デモ致セバ平均額ヲ定メルト云フコトハ、
是ハ出來ルコトト思フテ居リマス、兎ニ角今
ノ御話ノ點ニ付キマシテハ尙ホ能ク考慮イ

タス積リデアリマス

○子爵大河内輝耕君 今一點伺ヒタイノデ
スガ、半額主義ト云フコトニナリマス、
是ハ各小學校毎ニ半額ハ國庫ガ負擔スル、
國庫カラ出ス、半額ハ市町村カラ出ス、斯
ウ云フヤウナコトニナラウカト思フノデゴ
ザイマスガ、斯ウ云フ風ナ一ツノ案ガゴザイ
マスルガ、ソレヲ假リニ述ベテ文部大臣ノ
御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、小學校ノ教
員並ニ職員ハ申ス迄モナク市町村カラノ俸
給ヲ受ケテ居ルガ爲ニ、動モスレハ市町村
ノ有力者ノ爲ニ左右サレル慮ガアル、ソレ
ヲ除クノニハ全額ヲ國庫ガ負擔スル、國庫
カラ支辨スルト云フコトニナレバ、ソレハ
ソレニ越シタコトハナイ、併シ若シソレガ
出來ヌト致シマスレバ、校長ダケデモ、校
長ノ俸給ダケハ國庫カラ支辨サレルト云フ
コトニシタナラバ、餘程獨立ガ保テハシナ
イカト云フヤウニ、専門家ノ間ニ言フテ居ラ
レル御方モアルヤウニ存ジマスガ、其點ハ
如何デセウカ

○國務大臣(岡田良平君) 小學校教員ノ俸
給ヲ市町村カラ大部分支出イタシマスル爲
ニ、種々ノ弊害ガアルト云フコトハ能ク聞
ク問題デアリ、又實際サウ云フコトモアラ
ウカト思フノデアリマス、之ノ對策ト致シ
テ御話ノ通りニ或ハ校長ノ俸給ダケデモ國
庫カラ出シテハドウカト云フヤウナ説モア
リマスシ、或ハ總テノ教員ノ俸給ノ中ニ職
務俸トカ本俸トカ云フヤウナ區別ヲ付ケマ
シテ、本俸ダケハ國庫カラ支出スルヤウニ
シタラ宜シカラウト云フヤウナ説モアルノ
デアリマス、何レモ考慮スベキ價置ノアル
説トハ考ヘテ居リマスルガ、何ヲ申スニモ
多數ノ教員ヲ相手ニシテ致スコトデアリマ
シテ、之ヲ實行スルト云フコトガナカ、
複雑デアリマス、今一ツニハ國庫ノ負擔金ガ

漸ク七千五百萬圓ニハナリマシタガ、未ダ
是ダケデハ俸給ノ半分ヲ國庫カラ支出スル
ニ過ギナイト云フヤウナ場合デアリマスガ
ラ、職務俸ト本俸ト云フヤウナ區別ヲ付ケ
ルノニハモウ少シ金額ガ少イカト思ヒマ
ス、將來此金額デモモト増額スルヤウニデ
モナリマシタナラバ、或ハ職務俸本俸ト云
フヤウナ區別ヲ付ケマシテ、其本俸ダケハ
國庫カラ支給スルト云フヤウニ致シテ宜シ
カラウト思ヒマス、兎ニ角是ハ當局者ニ於
キマシテモ多年研究ヲシテ居ル問題デアリ
マスガ、唯今ノ所デハドウシヤウト云フダ
ケノ段取りニマデハ進ンデ居リマセヌガ、
尙ホ將來是ハ講究イタス積リデアリマス

新參者デアッテ俸給ガ安イト言フヤウナ所
ハ少イ交付金ヲ受ケルト言フヤウナ形ニナ
リマシテ、其間ニ不幸ノ差ガアリハ致サ
ヌカ、今日ノハ此教員數トカ學級數トカ言
フヤウナ機械ノ標準ニ依ッテ割ッテ參リマ
スカラ、割合ニ公平ガ保タレルノデアリマ
スガ、校長ト言フヨウナ一人一人ノ人ヲ見
テヤッテ參リマスト言フト、ドウモ其間ニ餘
程不公平ヲ生ズル虞ガアリハ致サヌカト思
ヒマス、若シ校長ノ俸給ヲ支出スルト言フ
コトニ致セバ、ドウシテモ全體ニ組立ラ變
ヘマシテ國庫カラハ校長ニ對シテモ一定ノ
金額シカヤラヌ、其以上ハ市町村ノ方デ支
出スルト言フヤウナ、矢張り本俸職務俸ト
言フヤウナ區別デモ致サヌケレバナルマイ
カト思フテ居ルノデアリマスガ、何レニ致
シマシテモ頗ル複雑ナコトニナリマスノ
デ、マダ之ヲ實行スルト言フダケノ決心ハ
付キ兼ネテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙
ホ能ク考慮イタス考デアリマス

○國務大臣(岡田良平君) 校長ダケヲ國庫
ノ負擔ニ致スコト云フコトモ確カニ一案デア
ルトハ思ヒマスガ、ナカ、是ハ複雑ナモ
ノデアリマス、マア第一手數ノ上デ大イニ
考慮ヲ要スルト考ヘルノデアリマスガ、一
定ノ俸給ヲ支給スルト言フコトニ致シテ増
俸モ何モ致サズニ置クノナラバ宜シイノデ
アリマスケレドモ、併シナガラ相當ノ時期
ニハ増俸モ致サナケレバナリマセヌシ、又
校長ノ間ニアチラコチラニ轉任スルト言フ
ヤウナコトモ起ッテ參リマスシ、ナカ、手
數ガ煩シイノデアリマススカラ頗ル是ハ困難
カト思フノデアリマス、又今一ツ困難ニ感ジ
マスル譯ハ、國庫カラ配當シマスル金額ノ
中カラ校長ノ俸給ダケハ除イテサウシテ其
他ノ金額ヲ各市町村ニ配當イタスト云フコ
トニ致シマス、餘程其不幸ガ起リハセ
ヌカト思フテ居リマス、或ル町村ノ校長ノ俸
給ノ高イ校長ヲ置イテ居ル所ハ多額ノ補助
金ヲ貰フ、支出金ヲ受ケマスルシ、校長ガ

○子爵大河内輝耕君 其問題ハ暫クソレデ
措キマシテ小學校ノ教員ノ養成ニ付キマシ
テハ先達來、先年來大分度々問題ニナリマシ
タ、ソレヲ今日彼は無論申ス譯デハゴザイマ
セヌ、併シ小學校ノ教員ノ養成ハ他日専門
學校ノ程度ニ致サナケレバナラナイト言フ
コトハ、是ハ當局モ御認メニナッテ居ルシ、
又一般ニ認メラレテ居ルコトダラウト思ヒ
マス、是ハ何モ直グニヤレト云フ譯デハ毛
頭ナイ、併シ財政ノ許ス限リデハサウ言フ
ヤウニナッテ行クノガ大勢デアルカノヤウ
ニ考ヘラレマスガ、ソレニ致シマシテハ大
分經費モ要スルコトデアラウト思ヒマス
シ、今日ノ俸給平均十四年度ニ五十五圓八
十錢ト出テ居リマスガ、大分ノ程度ニ上ラ
ナケレバナルマイルト思ヒマスガ、當局ノ御
見込デハ、甚ダ空ナヤウナ御尋ヲスルヤウ

デゴザイマスガ、之ヲ専門學校ニ致スト云フコトニナリマスレバ經費ハドノ位増加ノ御見込……何割位増加ノ御見込デゴザイマセウカ、具體的問題ニ今ナッテ居ラナイノニ御伺スルノハ少シ無理カモ知レマセヌガ、併シ何カノ具合ニ依リマシテ急轉直下ソシナ風ニナラナイトモ限リマセヌノデ御分リデモゴザイマシタラバ伺ヒタイ

○國務大臣(岡田良平君) 今日ノ狀態デ直チニ専門學校ト同ジダケノ俸給ヲ小學校教員ニ支給スルト云フコトニ對シテ計算イタシテ見マスルト是ハナカカ……少カラヌ經費ヲ要スルノデアリマシテ、唯今十四年度ニ於ケル小學校教員ノ俸給ハ五十五圓八十錢平均ニナッテ居リマス、専門學校ノ平均ハ中學校ガ百二十圓平均ニナッテ居リマス、即チ専門學校卒業程度ノ者ガ中學校ノ教員ニナルノデアリマスルカラ、今日ノ狀態カラ申スト詰リ小學校ノ教員ノ俸給ハ百二十圓ニ致サナケレバ釣合ガ取レヌト云フコトニナルノデアリマス、併シサウ云フコトハ到底出來ベキコトデアリマセヌカラ、要スルニ將來専門學校ノ卒業生ト云フモノガ非常ニ殖エテ参リマシテ、即チ今日ノ師範學校ノ程度ガ總テ進ンデ専門學校ノ程度ニナルト云フコトニナリマスレバ、俸給ノ平均額ト云フモノモ幾ラカ減額イタシテ差支ナイカト思ヒマス、現在ノ中等學校ノ教員ハ一時非常ノ缺乏ヲ致シタ爲ニ他ノ釣合カラ申シマスルト幾分カ良イヤウニナッテ居リマス、ガ併シ將來安定ヲ得テ参リマシタ時ニハ是ガ減ジテ參ル傾向ガアルノデアリマスルカラ、師範學校ノ程度ガ高マッテ専門學校ノ程度ニ進ムト云フヤウナ時期ニナリマシタナラバ、其卒業生ノ俸給ト云フモノガ矢張り今日ヨリハ可ナリ減額ヲ致ス、是ハマア全ク想像デアリマスガ、併シナガラ小學校ノ教員ハ五十五圓八十錢デ中學校ガ百二十圓デアリマスガ、其中間位ノ所ニ落付ケテ適當デアアルマイカト考ヘマス、ソレニ致シテモ小學校ノ費用ト云フモノハナカナカ著シク増加イタシテ居リマスルカラ、モウ少シ市町村ノ力ガ發展イタスカ、若クハ國庫ニ餘裕ヲ生ズルト云フコトニ至リマセヌト、ナカカ……是ハ實行ガ餘程困難デアラウカト、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○小林嘉平治君 私ハ地方局長ガ居ラシヤルヤウデアリマシテ、少シ御尋シテ見タイノデアリマスガ、只今頂戴イタシマシタ此乙ノ方ノ表ニ依リマスルト、七千五百万圓ノ義務教育費國庫負擔ニ依リマシテ一戸當リ交付金ガ市町村ニ依ッテ比較シタ表ガアリマス、之ヲ見マスルト云フコトニ於テ一戸當リ二圓七十八錢八厘、町村ニ於テ七圓九十三錢九厘トナッテ居リマス、併シ大變是ハ町村ガ甘イコトヲシテ居ルヤウニ見エマスガ、此裏面ニハ町村ノ負擔ガ既ニ重イト云フコトヲ現ハシテ居ルノデアリマシテ、其俸給ニ付テダケ考ヘテ見テモ現ニ二倍以上三倍近クモ負擔シテ居ルト云フコトヲ數字ノ上ニ示シテ居ルノデアリマスルガ、地方局長ノ立場カラ此市町村ノ教育費ニ對スル負擔額ガ違ッテ居ルト云フコトハドウ云フ風ニ御覽ニナッテ居ルカ、又此緩和策ハ如何ニシタラ宜シイカ、此邊ニ付テノ御考ハ如何デスカ

○國務大臣(岡田良平君) 此負擔金ノ分配方法ニ付キマシテハ法律ニ定メマシタ標準ガアリマシテ、其標準ヲ定メマシタ理由ハ成ルベク貧弱ナ市町村ニハ多額ノ交付金ヲ與ヘ、富シク所ニハ僅少ナル……割合ニ少イ交付金ヲ與ヘルト云フヤウナ意味デ此法律ノ規定ガ出來テ居ルノデアリマス、從ッテ此規定ニ依ッテ割付ケマスと云フト、差上ダ

マシタ乙號表ニアルガ如キ割合ガ現ハレテ居ルノデアリマス、ソレデ唯今小林君ノ御尋ハ市町村ニ於ケル……

○小林嘉平治君 私ハ是ハ半面カラ御尋シタノデ實ハ其邊ノ所ハヨク分ッテ居リマスガ、常ニ町村ノ方ガ負擔ガ多イト云フ結果ガ、大體公平ナ理由ニ基イテ分配ヲシテ戴イテモ、茲ニ澤山町村ニ分賦スルト云フコトニナリマスノデ、要スルニ其教育費國庫負擔金ガ増セバ増ス程町村ノ負擔ガ輕クナル、サウシテ其目的ヲ達スル……、私ノ申上ダケヤウナ目的ヲ達スルト云フコトハ能ク分ッテ居ルノデアリマス、ガ併シ斯ノ如クシテ頂イテモ、尙ホ町村ノ負擔ノ方ガ大變重イノデアリマシテ、ソレヲ緩和スルノニハ、地方局長ノ立場トシテハ將來ドウ云フ風ニシテ行ッたら宜イカ、何カ其邊ニ付テ御考ガアラウト思フノデアリマスガ……

ナラウト存ジマス

○小林嘉平治君 私ハシカカリシタ統計ヲ持ッテ居リマセヌノデ、數字ニ付テ申上ゲルコトハチヨット困難デアアルノデアリマスルガ、町村ノ一戸當リノ負擔金ガ、教育ニ對スルデス……、市ノ負擔金ヨリ非常ニ重イ數字ガ現ハレテ居ルト云フコトハ、是ハ能ク御認メニナッテ居ルデヤラウト思ヒマスガ、如何デスカ

コトハ御話ノ通りデアリマス、ソレデ交付金ノ割合デ調節イタシマシテ、幾分力之ヲ緩和スル目的ハ達シ得ルト考ヘルノデアリマス

○小林嘉平治君 尙ホ表ガアリマスナラハ伺ヒタイノデアリマスガ、一戸當リノ教育費ノ、市ト町村トノ現實ノ御金ハドノ位ニナリマスカ、チヨットソコノ表ニアルヤウナモノカラ見レバ大抵分リマセウガ...

○國務大臣(岡田良平君) チヨット唯今ソレガアリマセヌ

○小林嘉平治君 要スルニ、今ノ數字ヲ見マスト云フト、ヨリ多ク國家ガ... 此義務教育費ト云フモノヲ國庫ガ負擔セナケレバナラヌト云フ原則ニ基キマスト云フト、町村ニ向テハ、市ヨリ、ヨリ多ク此國庫ガ負擔現金ヲ交付シタイ、サウシテ國民ノ負擔ヲ均等ニスルト云フコトガ、結論トシテ現ハレテ來ハスマイカト云フコトヲ考ヘルノデ、唯今ノ市ト町村トノ分配率デハ、市ニ今ノ交付金ガ重クシテ町村ニ輕イ、言ヒ換ヘレバサウ云フコトニナツテ居リマスマイカト云フコトヲ感ズルノデスガ、如何デスカ

○國務大臣(岡田良平君) 交付金ガ町村ニ輕クテ市ニ重イト云フコトデスナ、是ハ單純ニ此教育費ト他ノ費用トノ割合カラバカリ見ル譯ニハ參ラヌト云フモノハ、市デハ教育ノ外ニ色々ナ事業ガアル爲ニ、教育費ト云フモノガ市費ノ小部分ヲ占ムルト云フコトニナツテ居リマスケレドモ、之ニ反シテ町村ノ方ニ於テハ、教育以外ニハ餘リ仕事ガ無イト云フ譯デ、町村ニ於ケル仕事ノ中ノ一番主ナルモノハ教育デアル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスカラ、先刻申シテ割合カラ見ルト、町村ノ教育費ノ割合ト云フモノハ百分ノ四十三ト云フ如キ可ナリ重イ割合

ニ當テ居リマスガ、ソレナラバ、其同じ割合デ、市ノ負擔ト云フモノガ輕クテ、町村ノ負擔ト云フモノガ重イノカト申スト、サウハ行テ居ラス、市ノ方ニハ教育費ノ外ニ色々ナ事業ガアリマスルカラ、矢張相當負擔ガ重イノデス、町村ノ方ハ教育費ハ重イノデアリマスケレドモ、外ノ仕事ガ少ナイカラ、町村ノ負擔ハマア比較的輕イト謂ハナケレバナラス、併シ市ト町村ト兩方ヲ比ベテ見レバドツチガ重イト云フコトヲ言ヘバ、矢張りソレハ町村ノ方ガ重イニ相違ナイノデアリマスガ、唯今申シタト同じ割合デ、不平均ガ起テ來ルト云フ譯デハナイノデアリマスルカラ、ソレデ國庫ノ配當金ヲ唯今ノ如キ率デ配當イタシマシタナラバ、略、其宜シキニ適フモノデナカラウカ、斯ウ云フヤウナコトニ考ヘテ居リマス

○小林嘉平治君 大體文部大臣ノ御考ハ分リマシタガ、私ハ會テ商工業者ト農民トノ負擔ガ能ク公平デアアルカドウカト云フコトヲ調査ヲシテ見タコトガアルノデアリマスガ、是ハ大藏省ニ於テモ能ク御認メ下サレ、イツデモ其數字ハ農民ニハ二倍若クハ三倍、總テノ負擔ニ對シテ、教育費バカリデナイ、重イト云フ結論ガ出テ來テ居ルノデアリマス、其數字ニ基イテ今ノヤウナ御尋ヲ致シタノデアリマス、ドウカ大體ニ於テ文部大臣モ能ク御考ニナツテ居ルヤウデアリマスカラ、尙ホ市ト町村ノ國庫負擔金ノ配分ト云フコトニ付テハ其點ニ十分思ヒヲ致サレテ將來善處セラレルヤウニ望ンデ置キタイト思フ

○委員長(澤柳政太郎君) 外ニ御質疑ガアリマセヌカ... 直チニ討議ニ移リタイト思ヒマス、御意見ガアリマシタナラバ... 別ニ御發議ガナケレバ採決シテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(澤柳政太郎君) 外ニ御質疑ガアリマセヌカ... 直チニ討議ニ移リタイト思ヒマス、御意見ガアリマシタナラバ... 別ニ御發議ガナケレバ採決シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○委員長(澤柳政太郎君) 原案ニ御異議ガアリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(澤柳政太郎君) 全會一致ヲ以テ可決シタモノト認メマス、ソレデヤ是デ散會イタシマス
午後五時五十三分散會
出席者左ノ如シ

委員長 澤柳政太郎君
副委員長 子爵野村 益三君
委員 伯備川村鐵太郎君
子爵大河内輝耕君
男爵今園 國貞君
鎌田 榮吉君
赤池 濃君
小林嘉平治君

國務大臣 文部大臣 岡田 良平君
内務大臣 濱口 雄幸君
政府委員 内務省地方局長 潮 惠之輔君

昭和二年三月二十八日印刷

昭和二年三月二十九日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局